

日本の言葉を 美しく話そう



見つけた問題点

最近よく若い人たちの品のよい言葉遣いをよく耳にします。

例1 やれほいでまる子 ⇒ YDK



例2 ありがとうございます ⇒ あがまーと

本来の言葉から感じることのできた言葉の重み誠意を感じるということができなくなっています。

言葉というのは時によって人を不快な気持ちにさせることがあります。

ですから私達は言葉に関する問題を取り上げました。

美しい言葉遣いを普段から心がけることにより、清らかで純粋な日本の心を育てることが出来ます。

また、所作が美しくなり、人や物にも優しく接する事が出来ると思います。



誼ちかひを結ぶ

親しくする

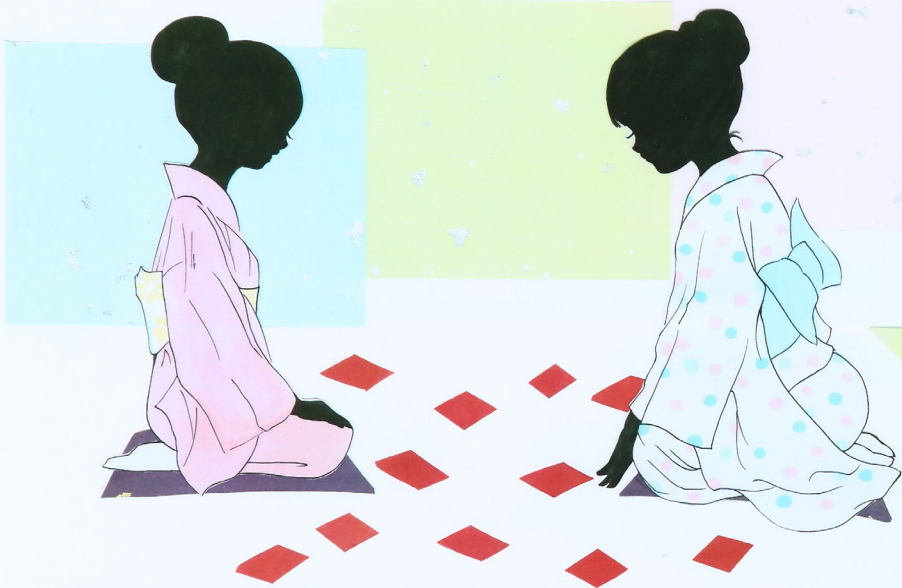


敷居が高い

心苦しくて訪問しづらい



遊び方



（神経衰弱のようなゲームです）

- 一、カードをすべてふせてバラバラに置きます。
- 二、じゃんけんをして順番を決めます。
- 三、最初の人は、カードを二枚めくりペアになりますようにそろえます。（二回につき自分がめくれるのは二枚まで）※ペアかどうかは右下のイラストを見て判断してください。
- 四、一番多くカードを揃えた人が勝ち。



まとめ

美しい言葉遣いは清らかで
純粋な日本の“心”を育むことができます。
また所作が美しくなり、人や物にも優しく
接することができます。

